

様式第2号

視察研修先	山口県美祢市議会	氏名	荒木 春吉
視察研修項目	美祢魅力発掘隊の取り組みについて		
<p>1 東京都あきる野市出身の花岡地域づくり支援員は、日頃の活動と当日の説明は正に孤軍奮闘であった。</p> <p>2 秋吉台への来客数は最盛期には200万人以上だったが、現在は1/4の50万人と下降している。その状況での活動は想像するに難しくはない。</p> <p>3 花岡氏の居る地区民は当初1,400人だったのが、現在は半減の700人余とのこと。人口減で人の繋がりは一層密度の濃いものになったのではなかろうか。</p> <p>4 山口県花は夏蜜柑。その色をしたガードレールには雪国から見たらかなりの吃驚ものであった。陽光溢れる長州は眼にも鮮明でした。</p> <p>5 30代の移住ご夫妻の取り組んでいる蕎麦の六次産業化は仲々苦勞していると伺いました。じっくり腰を据えて取り組んでいただきたい。</p>			

様式第2号

視察研修先	山口県山陽小野田市議会	氏名	荒木 春吉
視察研修項目	豪雨災害対策について		
<p>1 平成3、11年の台風被害と平成21、22年と去年の豪雨災害が山陽小野田市の近年の主なものでした。</p> <p>2 ハザードマップは高潮・洪水・土砂災害・台風と地震・津波に対応したものが作成されていた。</p> <p>3 災害時の緊急情報入手方法は、屋外拡声器、広報車、民生委員への電話連絡、市HP、防災メール、防災ラジオ、Lアラート、Yahoo防災速報など、幅広く網羅している。</p> <p>4 防災ラジオは2,000円の自己負担で入手可能。1,300世帯に普及しているとの話あり。</p> <p>5 自主防災組織率は91.27%（H31.4現在）。自主防災訓練率の向上も余り見られないとのこと。中々大変である。</p>			

様式第 2 号

視察研修先	山口県下関市議会（下関市消防局）	氏名	荒木 春吉
視察研修項目	消防団への入団促進の取り組みについて		
<p>1 梯子車を下関市では 3 台所有。</p> <p>2 スクリーンに映る初期火災の映像に向かって水消火器で放水を行うと、映像の中の火が消えるという消火体験ができる消火器訓練には感心した。</p> <p>3 消防団支援用自販機の年間売上げは60万円とのこと。良きPRになっているのではなかろうか。</p> <p>4 費用弁償は研修が3,000円。出動の場合 3 h 以内は5,900円、3 h 以上は7,000円となっていて、本市に比べて良好のように見えるが、それでも団員募集には苦慮しているようだ。</p> <p>5 出動回数は昨年が年間54件、一昨年は68件とのことでした。</p> <p>6 神奈川県で女性操法全国大会を見た経験があるが、下関市は 4 年前に準優勝しているとのこと。素晴らしいことである。</p>			